

NPO 法人 日韓アジア基金・日本
平成 26 年度(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)事業報告書

平成 26 年度目標

- 1 カンボジアに於ける活動地域周辺の小学校の教育レベル向上支援
- 2 日韓交流事業の推進
- 3 広報宣伝活動

実施内容

1 カンボジアに於ける活動地域周辺の小学校の教育レベル向上支援

1-1 カンボジアに於ける活動地域周辺の小学校の不足教科書補充支援

支援数量

支援学校数は 11 校、対象生徒数 4,002 人、支援教科書数は 4,263 冊となりました。

支給遅れの防止

先期に引き続き 6 月頃から各学校の校長先生に必要な数検討を開始して頂き、9 月には必要数を確定しました。この結果、10 月の新学期の初めから対象生徒全員に教科書を支給することが出来ました。

予備教科書の備え置き

先期に引き続き、年度途中で教科書を紛失したり、転入で教科書を持って来ない子供に対し予備教科書を備え置いて順次支給する体制を整えております。

1 年を通じ教科書の無い子供ゼロを達成しています。

1-2 非正規識字学校支援

Prekchrey 小学校 (No.9 校) の校区内、3k m離れた所にある識字学校の支援は今期も順調に推移しております。

特筆すべきは、所定の課程を修了した生徒 9 人の内、結婚した一人を除く 8 人が揃って中学に進学したことです。

2012 年に支援を開始してから初めて中学進学という成果を得ることが出来、スタッフ一同大変嬉しく存じております。

1-3 幼稚園の通園支援

期初から Tuk Tuk(バイクで幌付き車両を引く一種の通園バス)の運行運航を開始し、幼稚園の生徒数も 20 人程度から 40 人前後に増加しました。

2 日韓交流事業の推進

ビビンの会

当期は 6 月と 12 月の 2 回の開催と、前期より 1 回開催を増やすことができました。

現状の当会の力ではこの程度の開催頻度が妥当な所と考えております。

ここで報告したいことは、ビビンの会に参加したメンバーが、会の外で集りを持つようになったことです。

飲み会・花見・花火大会など他愛もない内容ですが、日・韓・中・台の若者が国籍に関係無く和気あいあいと過ごしているのは、ビビンの会のテーマ「友達作ろう」を体現した風景で、苦勞してここまで継続した意味があったと大変嬉しく思っております。

因みに 2007 年 6 月に第一回を開催してから昨年末で 21 回を数えます。

3 広報・宣伝活動

当期の実績は下記の通りです。

3-1 外部イベントへのブース出展

- ・文京国際フェスタ 2014
- ・グローバルフェスタジャパン 2014
- ・ABK フェスタ 2014

3-2 主催イベント

- ・ビビンの会(年 2 回)
- ・ニュースレター発行・発送作業(年 4 回)

なお、今期は経費節減のため年賀状の発送は取りやめ、ニュースレターの送付時期を 1 月初めにすることで年賀のご挨拶としました。

いずれのイベントも事前にボランティアの募集を行い、延べ 110 人の参加を得、この中からスタッフになって下さる方、リピーターになって下さる方も出ております。

イベントでのボランティア募集はマンパワー補充が主目的ですが、合わせてスタッフ、リピーターの獲得も目的としており、その点でも成果があったと考えております。

以上